

○今回は、1/9火の始業式での話を載せます。

明けましておめでとうございます。2024年が始まりました。そして、今日から、三学期が始まります。私は、こうして、「今、ここ」で皆さんと一緒に一年のスタートを切れることを大変うれしく思っています。

2024年は、予想もしない出来事から始まりました。元日の夕方に石川県で発生した「能登半島地震」です。

家族が集まって「この一年が幸多い年であるように」と祈るそんな日に地震は起きました。「自然災害はいつ来るかわからない」とは言うものの「よりよって元日に」と思った人も多かったことでしょう。

石川県では、昨日現在、この地震によって亡くなられた方が168名、安否がわからない方は300名を超えています。また、この地震により道路は寸断、家屋は倒壊し、あちこちで断水や停電が起き、避難所生活を送っている方は2万8千人に及んでいます。そして、昨日は、追い打ちをかけるように、冷たい雪が降り積もりました。そんな方々の姿を目にし、その声を聞いた時に胸が痛くなります。皆さんもそうではないでしょうか。

13年前に起きた東日本大震災についての記憶がほとんどない皆さんにとっては、はじめてリアルタイムで目にする大地震だと思えます。

石川県内の小中学校の多くは、甲府市同様に今日、9日が始業式の予定でしたが、60あまりの学校では、始業式は延期となり、いつから学校が始まるのかさえも決まっていなかったことでした。

まずは、亡くなられた方々に哀悼の意を示すとともに、寒さを凌ぎあたたかい食べ物を口にできる環境が一日も早く整うこと、そして、友だちと学校で楽しく会話できる日が戻ることを皆さんと一緒に祈りたいと思います。皆さんも、ぜひ、被災地の人たちに思いを馳せてもらえればと思います。

さて、新しい年が始まりました。この後、各学年の代表生徒から、新年の決意や3学期の抱負について話がされます。それぞれの学年の段階によって、この1年間の位置づけは異なりますが、私からは、皆さん全員に共通して、大切にしてほしいことを話したいと思います。

それは、「今、ここ」を大切にほしいということです。これには2つの意味があります。

ひとつは、自分の目標達成に向けた日々の過ごし方に関してです。

皆さんは、新年または3学期の決意や目標を立てることと思います。その目標の達成にあたっては、「今、ここ」でできることを積み重ねていくことが大切です。以前、皆さんに紹介した元メジャーリーガーのイチローさんの言葉「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行き着くためのたった一つの道である」は、まさにこのことを表しています。

「今、ここ」の小さな積み重ねが未来につながっていきます。

“自分自身の将来は、今、この瞬間、ここにある”ということです。

ふたつめは、「今、ここ」でこうして、家族や友だちといった大切な人たちと過ごせる日々を大事にしてほしいということです。冒頭で話した能登半島地震は、明日も続くと思っていた日常は、当たり前のものでなく、実は脆い物であることを教えてくれました。「朝、起きたら、普通に、学校へ行き、授業を受け、友だちと話し、部活動をする……そんな日常は当たり前のものであって当たり前でない」ということを、頭の隅に置いておきたいと思えます。

そうすることで、平凡で、時には退屈と感ずることすらある「今、ここ」にある毎日が、いと楽しく、かけがえのないものに見えてくるはずです。

ここまで、「今、ここ」について、2つのお話をしてきました。「今、ここ」は英語では「Here and Now」と言います。心に決めた目標を達成するため、そして、当たり前と思っている日常を大切に過ごすために、時折、「今、ここ」、「Here and Now」という言葉を思い出してもらえればと思います。私も「今、ここ」を大切にこの1年を過ごしたいと思えます。最後に、今年1年が皆さん一人ひとりにとって素晴らしい一年になることを祈って始業式の話とします。